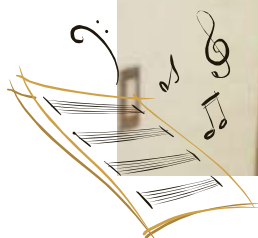


2014 年 10 月 25 日

OB会 だより



定年後の人生・・・

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる。

その一人 島崎孝子さん

「ハーモニカとリコーダ」でボランティア に挑戦だ。

母の介護のため早期退職をした私は、その合間に上福岡診療所の「上診バンド」のメンバーになり年 2 回コンサートで演奏してきました。現在は、ボランティア施設に月 1 回の訪問、公民館のグループ活動への参加などで演奏しています。

4 年前、三線と私のハーモニカ・リコーダを合奏したのがきっかけです。イベントを企画したり、他の楽器（バイオリン・三味線等）が加わったときの音色の広がりなど、嬉しく楽しさが増してきます。ボランティア施設では文部省唱歌、沖縄民謡等が好評なので、喜んでいただけるようこれからも続けていきたいです。

（島崎さんは検査技師として所沢診療所、埼玉西協同病院に勤務していました）

新入会員紹介

よろしくおねがいします



♪♪ 榎原 庸恵 (よしのぶ) さん ♪♪

この間、OB会のぶらり散策や先日の青春きっぷの旅も参加させていただきました。富田会長の話を聞き、自分も退職者の会に入ってよいのだろうかと迷っていたところです。息子に家業のガス会社を譲り、これからは社会に役立つ仕事をと、ヘルパーの資格をとりました。「老健みぬま」で働いたのがきっかけで小田さんと知り合い、退職者の会の行事に誘われ参加していました。



このたび仲間入りさせていただくことになりました。よろしくお願いたします。



わたしの近況



◆ 金井 東望子さん

急性大動脈解離による上行弓部大動脈人工血管置換術から3年が過ぎました。3月頃までは、寒さや歩き過ぎなどで筋肉痛により歩けなくなったりしましたが、整骨院通いで元気になりました。まだまだ皆さんと一緒にの歩行にはついていく自信がありませんが、皆さんと一緒にの旅ができる日が来るだろうと思い、のんびり過ごしています。

◆ 松本 光正

最近、私の身の回りに起きた大きな出来事の筆頭は天下の大手出版社、講談社から「高血圧はほっとくのが一番」と題して新書版の本が出たことです。これが各書店で平積み扱いとなりベストセラーになったことです。これが契機で新聞や各種の週刊誌に登場しテレビやラジオにもでました。次にあげるとすればひよんな事から開業することになったことです。もともと雇われマダムならぬ雇われ院長としてここ数年のんびりと働いていましたが、突然雇い主が倒産し開業する羽目になりました。人生初めての開業医、ま、これもいいでしょうと思っています。診療そのものが趣味なのですが、もう一つの趣味は診療の合間をぬって「笑い与健康」「笑って認知症の予防」などを主な演題とした講演活動です。

「目からうろこです、落語より面白い、きみまろですね」の評価に鼻の下を伸ばし、年に数十回、多勢の人の前で話すことを楽しんでいます。地域活動は40年以上続けている保険医協会活動です。今でも月に3~4回、深夜10時、11時の会議、勉強会に出席して



います。よく続いているなと自分ながら感心しています。

健康だからでしょうね。これからも民医連、医療生協で学んだ事を活かしながら様々なことに挑戦していきたいと思っています。

◆ 寺島 萬里子さん

間もなく 88 歳、心身の衰えを自覚せざるを得ない時期になりました。続けている韓国語（週一回）、短歌の会（月二回）には欠席せずに通っていますが、「戦争」を知る世代として、平和を守る声は上げ続けなければと思っています。

役員の皆様のお骨折りに感謝。ついに再建できなかった「川越中央診療所のこと」（千野さん）など感慨深く読ませていただきました。

◆ 武内 優さん

十数年追い求めてきた詩人・野口雨情が、満州国建国 6 年前の大正 15 年 10 月に生命の危険を顧みず、モンゴルの活仏に会った顛末を記した「野口雨情 モンゴル訪問と親交の世界」（仮題）と題する内容を来春早々に刊行を予定しております。



◆ 川合 省さん

越乃（ゆざわ）Shu * Kura に

18 切符で乗ってきました。

新潟県を走る観光列車がデビューしました。新潟県のお酒と食をコンセプトにしています。始発の高田駅へは飯田線、日本三大車窓とスイッチバック駅の姨捨、北陸新幹線開業に伴い廃駅、路線変更になる脇野田駅を経由して行きました。

満席でも 70 人しか乗れない列車で、途中にジャズの生演奏が 3 回、日本酒を使った美容講座が 2 回行われ、越後湯沢までお酒と音楽と列車を楽しみ、あっという間の 3 時間でした。



◆ 矢作 いずみさん

医療生協時代お世話になった T さんを見舞いました。お元気な時も、糖尿病の管理もきちんとしていた T さん、今回の入院も「早く自宅に帰りたい」と歩行訓練を頑張ったそうです。自宅にベッドがなく（？）と思ったら、布団で暮らせるように努力したとのお話に“さすが”と感心しました。老健さんとのためのデイサービスも利用され「“さんとめ”を作っておいて良かったよ」の笑顔！ 嬉しくなって、当時の事務長さんに報告の電話をしました。

おかげさまで、議員活動（所沢市議）も 11 年目を迎えました。

小・中学生だった子どもも大学・高校生ですが、一人はフリーターです。未来は自



分で切り開いてほしいのですが、現在の20代は二人に一人が非正規雇用、これでは少子化に歯止めがかからないのも当然です。ともあれ、励まし応援し巣立ちを心待ちにしているところです。親が出来ることは、学校に行かせるところまでですが、子どもたちの未来のために、「戦争できる国づくり」だけはくい止めなければと思っているところです。

◆ 山形 文子さん

こちらに戻って10年、開業8年。何とか日立で生活できるようになり、医師会副会長も2期目に入りました。人口減、高齢化の日立で、何かできることがあるかと努力中です。OB会、新しい会員が次々と入会、うれしいですね。肥田先生のご講演の記事、感動です。高橋先生もお元気になられたようで安心です。OB会だよりのそれぞれの写真、きれいですね。

◆ 田中 チエ子

合唱と証言による群読構成劇「われらが日本国憲法」の群読者募集の声をかけられたのは、日本共産党文化後援会の全国交流会でした。私はその日、俳人後援会の一員として参加、演劇後援会の金子幸枝さんの熱っぽい呼びかけにその場で決意したのでした。憲法の成立過程を構成劇で上演するものです。



さて、私は群読がどんなものか、舞台上で演じられるか不安はあったものの、本番めざし5回の稽古に通いました。交流会などではニコニコやさしい金子さん、憲法の一つ一つの言葉には深い意味があり、読み方、声の出し方、息つき、間のとり方、等々とても厳しいものでした。映画「でんでら」の怖いバアさんを思い出しました。金子さんは「でんでら」に出ていました。当日はジェームス三木さんの挨拶、加藤剛さんの詩の朗読、そして群読構成劇、実行委の中には玄人の舞台人も10人くらいいて、群読40人は励まされながら声もそろって無事終了、演劇を生業としている人たちも身体をはって頑張っている姿を目前にし、この夏は大きな元気をもらったと感謝しています。

◆ 浦川 恵子さん

蔵王だより ～夏～

2014年9月

蔵王の夏の一番の贅沢は、朝晩の涼しさ。このために灼熱の埼玉から移住したと言ってもいい。お楽しみは、温泉街に日曜早朝に立つ朝市。採りたて、旬の野菜がうれしい。里芋のわっこ（脇芽）は味噌汁に、金時草（きんじそう）はお浸しに、丘のりは天ぷらやお浸しにと、珍しい物は調理法も教えてもらおう。102回を迎える盆踊りは、仮装盆踊り。参加者は様々な趣向を凝らして、楽しませてくれた。さい

わい診療所時代に、たたら祭りに参加したことが思い出された。

一番嬉しかったのは、ホタル。7月ほんの1週間、我が家からすぐの小川で、ほんの数匹のホタルとの出会い。年々減っているとのこと、来年も会えるといいな。



6月 色づき始めた桃



7月 ブルーベリー摘みを初体験



7月 梨の収穫もまじか

◆ 小野 敏

私は5月から行田市民大学に入学しました。退職者を中心に約50名が入学、「ものづくり大学」が会場です。毎月2回、2時間の講義で1年間22講座開催され、期間は2年間です。

講義の中心は、行田市の成り立ちから歴史、文化、産業・経済の発展ですが、様々なテーマになります。講義のほかに、7名から10名によるグループ研究があります。わたしのグループは、「介護保険法を学び、行田市高齢者いきいき元気安心プラン」を調査・研究することです。「のぼうの城」以後の忍藩は、徳川家康に重宝され寛永10年（1599年）から文政6年（1823年）の191年間に10代にわたり老中を務め（老中は4名）「老中の城」となりました。

驚きの事実を学び、新しい発見に、毎回新鮮な講義です。

◆ 渡辺 元子さん

OB会だよりで、12月に高橋旦さんが亡くなったことを知りました。

我が家が浦和の頃、別所沼公園で新体連の「埼玉走る会」に参加した時、お世話になったのが高橋旦さんでした。秋ヶ瀬マラソン大会や、合宿など楽しかった思い出がよみがえってきます。当時は埼玉民医連を退職されていましたが、私が浦診に入職し医療生協さいたままで働くようになってからも、大先輩として心強く支えていただきました。心からお悔やみ申し上げます。

新小岩で開業して10年になりました。地域の様子もわかってきて「わが街新小岩」と呼べるようになりました。診療時間は、月～土まで朝9時から夜7時まで、夫と一緒に頑張っています。3年前から夫婦で診療終了後、近くのスポーツジムで水泳を始めました。カナズチでしたが、やっとクロール、背泳、平泳ぎが泳げるように（自分なりですが）なり、今はバタフライに挑戦中です。

何をするにも“健康”であることが大切だと実感しています。



OB会企画に参加して少しは文化的な生活をと・・・と夢見ています。

浦診開設 50 周年おめでとうございます。11 月の記念式典には参加して浦診の未来を感じたいと思います。

◆ 藤田 悦子

私は八月生まれのせいか、夏の暑さはさほど気にならず、むしろタラタラ流れ出る汗を拭きながら過ごす時間もよいものだ。毎年八月は、自分の健康管理の月に決めて「翌年も元気で迎えたい・・・」と願う月で、ひととおりの検査を受けている。

そして、この八月に「短歌の会」に仲間入りして、また一つ趣味を増やしてしまった。でも・・・これは楽しく続けていけそう！

そこでこの夏の駄作一首

表わらで 作りしかごに 螢とり
蚊帳に放して 遊びし頃あり

◆ 高橋 喜長さん

私の住む高瀬住宅は出来てから40年近くたち、当時働き手だった人たちも、今はみんな定年を迎え50人余りの総会参加者はみなさん年寄りでした。総会后、老人クラブ「高瀬クラブ」に入り、カラオケ同好会に顔を出しています。集団就職時代を思い出し、つい「寒い朝」や「別れの一本杉」などの古い唄が出てきます。

「演芸大会」では出演するカラオケ仲間の応援に行ってきました。

「集団的自衛権」行使容認、憲法解釈変更の閣議決定など「憲法や平和」を解釈で壊す攻撃、福祉や介護に対する攻撃等強められていることを、週2回の「リハビリセンター」通いやマッサージを受ける仲間に訴え、食い止めようと話しています。



第 11 回うらしん OB 会総会

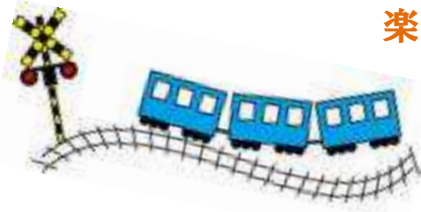


小嶋 美智子

9月28日、27名が参加し割烹千代田で行いました。(会員39名)

棚橋さんの司会のもと、埼玉民医連退職者の会富田会長の挨拶、世話人代表の水野さんから前年度の振り返り、今年度の計画が報告されました。

懇親会での肥田先生のお話、いつ聞いても圧巻です。来年の一斉地方選挙に県議予定候補として奮闘中の青柳伸二さんから熱の入った挨拶、後半は参加者の近況報告、笑いにつつまれた楽しい時間でした。11月24日予定の「浦和民主診療所開設50周年記念式典」で逢いましょうと散会しました。



楽しかった！
青春きっぷの旅



今回の18きっぷは・・・ 小野 敏

青春18きっぷの旅は今回の「小海線・清里の旅」で6回を迎えました。1泊2日の旅で、関東甲信越の魅力あるJR線をほぼ乗りました。中央線を利用する旅は今回で3回目になりますが、小海線を利用するのは初めてです。平山郁夫シルクロード美術館見学、清里に宿泊し、ハヶ岳の麓と勝沼ぶどうの丘散策で、旅として成立する思いでした。参加は21名、初めての参加者は4名でした。また、清里周辺で生活している芝崎明さん、馬場春夫さん・真理子夫妻も参加いただき懐かしい旅になりました。

「明ちゃん」に会えてうれしかった！

竹村 むつ子



9月4日、早起きして西部の集合場所新秋津駅へ急ぐ。7時20分には8名がそろい大宮駅へ。が何のことはない、9時半ころに新秋津を通過して八王子へ・・・
平山郁夫美術館など見学して清里の伊予ロッジへ。ロッジの食事はおいしくつついおかわり。仕事を終え駆けつけてくれた「明ちゃん」に久しぶりに会えてうれしかった！ 山好きの私としては、あいにくのお天気で南アルプスやハヶ岳が見られなくて残念。ロッジではタオルがなくて困りました。ハンカチで風呂に入ったり、顔を洗ったりで苦労しました。
最後は流れ解散のように、それぞれ何となくわかれてしまい、しまりがなかったかな。



馬場真理子さん

芝崎明さん

馬場春夫さん



はじめて参加 青春きっぷの旅

河野 弘子



大宮駅で皆さんと合流、21名の参加者は班に分かれていざ出発！
列車の中は、学生時代の遠足のような感じでした。

JR小海線の甲斐小泉（無人駅）へ下車すると目の前は平山郁夫
シルクロード美術館。館内では絵をゆっくり観賞、楽しみました。
マイクロバスでの移動中、沿道にはコスモスが咲き秋を告げていました。

「伊予ロッチ」到着後は周辺を散歩、夕食はバイキング形式で満腹。自己紹介や近
況報告、久しぶりの再会に話を咲かせ、楽しい時間を過ごしました。

翌日は清里駅から小淵沢へ。小さな土産物店により信玄餅を買いました。甲府駅で
は「花子とアン」のコーナーがあり見学、勝沼ぶどうの丘ではそれぞれ時間を過ご
しました。帰路の車中でもおしゃべりに元気でした。次はどこかな？

大きな方々 ごきげんよう さようなら・・・



ゆっくりと旅を楽しみました

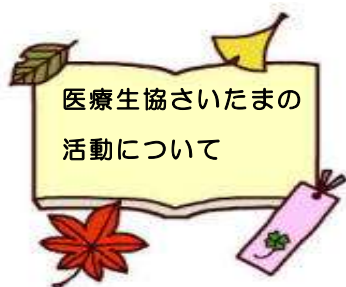
若杉 博

OB会の仲間と顔を合わせるには、2月の総会以来、約半年ぶりです。
みんなの元気な姿に接して、日々雑事に追いまわられている日常から、ちょっぴり
解放されました。気のおけない仲間と近況を報告しあいながら、ゆっくりと列車に
揺られながらの旅は本当に良いものです。

当日は曇天～小雨という天気です。宿については本格的な降りとなりました。
残念ながら美しい清里高原の風景や満天の星空を眺めることはできませんでした。
宿には芝崎明さん、馬場春夫・真理子夫妻が駆けつけてくれ、交流会は大いに盛り
上がりしました。早期に退職せざるを得なかったけれども、明るくたくましくなど頑

張っている話を聞き、こちら也大いに元気をもらった今回の旅でした。

平山郁夫シルクロード美術館の見学、勝沼ブドウ園を散策して帰路につきました。今回の旅で新たな発見、なんと大宮から八王子まで直通の列車があるのです。北朝霞の手前で武蔵野線に接続するのですが、交通網の変化・発展に驚きました。西部方面から参加された仲間は、朝6時過ぎに自宅を出発、大宮駅に集合したわけですが、もう一度新秋津方面に戻るということになりましたが、これも18きっぷの良いところ。皆さん、お疲れ様でした。



斉藤専務を囲んで懇談

富田 孝博

法人は2年前から「ネットワーク地区制」へと組織運営が大きく変わりました。基本の活動地域は、事業所の枠を超え、2次保健医療圏や生活圏域を基礎とした考えで、組合員・職員が共に考えながら「地域のニーズに沿った健康づくりを目指していく活動への転換」でした。

参加した会員からは、地域の自治会長をやっているが自治会員との接点が大事で、自治会の中で活動する人をたくさん生み出すこと。また、社協の相談員をしている会員からは、地域包括と連携がとりやすく、訪看ステーションとのつながりもでき広がっているとの意見も出されました。私が考えた点は、自分が住んでいる地域諸団体とも日頃から情報交換や連携が大事だと思います。そこで、その仕事を担う活動家（職員・組合員）はいるのだろうか？ 医療生協として誰がリーダーシップを果たしていくのだろうか等心配にもなりました。医療・介護サービスを共に生み出す視点は高いほうが良いが、地域住民の医療・福祉の底上げ、住民がわかるようなネットワーク地区制、そこでの活動の在り方など重要だと感じています。

しかし、この間の活動ですでに先進的な取り組みが「総代会議案書」でも紹介報告されています。例えば朝霞地域・新座支部が陳情や公聴会の参加など継続してとり組んだ結果行政を動かした活動、東松山市の支部が協力事業所として、認知症対策で見守り・助け合い・支えあいのまちづくり活動。その他にも所沢、川口など模範的な活動が展開されてきているのです。



OB会員の中には支部運営委員や地域活動に参加している人も多くいます。私たち元職員としての経験を生かしてできる活動があるはず。これらもOB会の

会合などで情報交換していきたいと思いました。最後に参加者から、組織担当者の役割は大きい。課題が組合員に分かるような説明、行動をしてほしいと期待の声もありました。

投稿

あさがおに 癒されて



富田 厚子

自治会の環境整備活動の終わった後に「朝顔をどうぞ」「団十郎は 1 本しかないよ」という係の人の言葉に、他とは形が違うし折れそうな 1 本をもらってきた。他の花はどんどん伸びるのになかなか伸びない。なかば諦めていた。ある朝「おくれてごめん」と言うように咲き始めた。それから、ひとつ二つと毎朝花をつける。急に可愛くなって毎朝一番に眺める。すると、双子の団十郎が咲いている！ 早速友達に「双子の朝顔よ」と自慢げに写メールした。「えっ、種取って」「めずらしいねー」と。有頂天になった私は「しかし待てよ」とじっくり観察、何と 1 cm くらいの違いで並んでいただけだった。

がっかり！ でもその後も花をつけて楽しませてくれた。“ひとつ二つ 朝顔だんぎ いやされて”さて、種を？と待っているが一向に見えないのでネットで調べてみた。団十郎朝顔は 2 代目市川団十郎が、歌舞伎 18 番の「暫」で用いた衣装の色が海老茶色であったことにちなんでつけられた



名前・・・しかし種子の確保が容易ではないことから、生産量は激減し戦後途絶えた。ゆえに「幻のあさがお」と言われていた。近年多く見られるようになったがそれは本物ではなく、大手業者が流通名をつけたものである。専門の栽培家のみが種を保有してきており、園芸店などでは販売されていない。とある。んまあー。あさがおは朝顔だぐらいしか思っていなかった。また一つものしりになった。



・・・お知らせコーナー・・・

- ◆ 埼玉高齢者大会 11月17日(月) 川越市
- ◆ 第一世代の会員を囲むつどい 権田圭助さん
12月1日(月) 11時半～14時 ふじみ野市「美可美」
- ◆ 第25回総会 2月15日(日) 医療生協さいたま本部(予定)
皆さん！ 参加してください。

ホームページの訪問者が1,000名を超えたのを機に、皆さんから意見・感想をいただきました。会員をつなぐ架け橋になるよう改善を進めていきます。みなさん！ホームページへの訪問お待ちしておりますネ。

埼玉民医連退職者の会

検索

担当者として考えていること

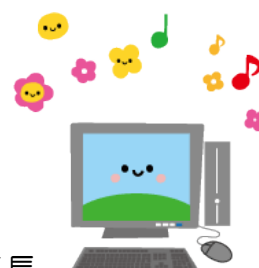
金子 仁志

『埼玉民医連退職者の会』のホームページを立ち上げ、カウンターを設置したのが2012年5月初めなので、それから2年半近くなります。

金沢で開催された『民医連退職者の会全国連絡会第11回総会』の発表会場で、立ち上げたばかりのホームページに直接アクセスしてスクリーンに映し出すと、会場から「オー」という声が聞こえたのを今でも覚えています。これを契機に各都道府県でホームページ作りが進むかと期待したのですが、今のところ『民医連退職者の会』で検索してホームページが出てくるのは埼玉だけで、残念です。もしそれぞれがホームページを立ち上げ、取り組みや機関誌などを載せてくれば、「ああ、こんな風にやっているんだ」と、とても参考になると思うのですが……。

埼玉のホームページもまだまだ不十分なので、ホームページ作成の交流会やコンテストの開催が夢です。

現時点での課題はたくさんありますが、一つは取り組みをすばやくキャッチして、『OB会だより』の発行前に概略を掲載することです。二つ目は無料ホームページゆえに容量等の制約があるので、予算化（低額で）してグレードアップを図ること。三つ目は一方通行ではなく、ホームページを見た方からの声が届くシステムを作ること等々です。140名の会員のうち、3分の2ほどがホームページを閲覧できる環境にあっても、日常的（月1回程度）に見ている方はまだ少ないようです。届けられる『OB会だより』を見れば詳しく分かるということでしょうけど、「あまり変わりばえしない」というのも理由かと思うので画面作りをいろいろ挑戦してみたいと考えています。



「ホームページ」について私の意見

高橋 喜長

「訪問者」が1,000名を越えたとのこと おめでとうございます。写真や文字が大きくて読みやすいなどすばらしいと思います。今から10年位前にホームページ作成の提案をした本人としては、これを見て隔世の感があります。

- ① トップページから、活動の記録をはじめ、お知らせ等の欄がありますが、「古いお知らせ」はいらぬし、「アンケート」等必要なものはまとめたらと思います。
- ② トップページに戻るクリックは、一々×印クリックしないで、できるように、各ページの最後にもつけてください。
- ③ 埼玉民医連のH・Pにもクリック「ボタン」を設けてもらって、1千人近い現職や何万世帯もの医療生協組合員も読者対象に、入会を呼びかけ、組合員と情報を共有するようにしたらと思います。
- ④ 情報公開とプライバシーの関係がありますが、退職者の会の会則をのせたり、会員同士のURLなども載せて、交流ができたらと思います。
- ⑤ 退職者の会へ、H・Pを呼んだ感想や、記事提供の「ページ」を設けた方がよい。



「パソコンからスマートフォンへ」

芝崎 明

1981年、今から33年前埼玉協同病院に入職したころは、パソコンのOS（オペレーティングシステム）はまだ「DOS」でウィンドウズすらなかった。入職から10年くらいたったころ、ワープロのオアシスが導入され驚いた。その後の進歩は目覚ましいもので、退職する10年くらい前からはウィンドウのパソコンがないと仕事ができない時代となった。それが今は、いつでもどこでもパソコンがのぞけるスマートフォンの時代になった。

埼玉から200km離れた八ヶ岳の麓に住む私にとって、埼玉の情報をいち早く入手するには、ホームページやFB（フェイスブック）は欠かせない情報源だ。この記事を書きながら、退職者の会のホームページを覗くと、9月に参加させていただいた「青春18きっぷ小海線・清里高原の旅」で、久しぶりに再会した諸先輩の方々の笑顔の写真が、手元のカメラで撮ったように鮮明に映し出されている。ページをめくれば、ついこの前まで机を並べていた旧友の顔が登場する。懐かしい諸先輩の活躍する姿も鮮明に映し出されている。

現役時代に法人のホームページの管理に携わったが、新しい情報を正確に反映することや掲載する記事を集めることの大変さは身をもってわかっている。私がこうして皆さんの最近の活動を懐かしく見ることができるよう、そうしてご苦労されている役員の方のおかげであることに感謝したい。

私の要望はただ1点、ヤフーやグーグルでホームページがすぐに検索できるように、「埼玉民医連 退職者の会」が検索ワードになるように設定してもらえれば、もっと多くの方に閲覧していただけたらと思っています。



利用度の高いホームページとして 充実されることを期待しています

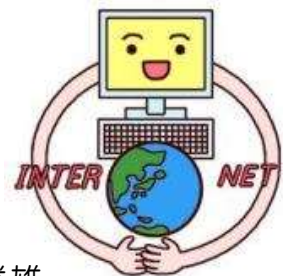
群馬民医連退職者の会 事務局長 宮内 威

貴会のホームページ・1072人目の訪問者でした。

退職者の会でHPを持っているところは埼玉だけではないでしょうか。あらゆる情報がネット化される時代となってきました。高齢者にとっては「スマホ」「タブレット」って何？デジタル化している家電製品の扱い、電車に乗る時の戸惑いなど困ることが増えているのではないのでしょうか。時代の流れに沿った退職者の会としてのホームページは素晴らしいと思います。

私がいいな、便利だなと思うことは、OB会だよりが遡って見られることです。ネット上では拡大・縮小が自由にできますから、加齢により視力が落ちてきても、バッチリですね。特に写真など鮮明ですから、会の行事に誰が参加しているかなどよくわかります。会の存在や、新退職者への呼びかけなど、利用度の高いHPとして、ますます内容が充実されることを期待しています。

「OB会だより」も 「ホームページ」も “絆” を強める宝物



神奈川民医連退職者の会 事務局長 菅原 勝雄

貴会の「OB会だより」をいただき、その充実した内容に驚いています。

私も神奈川の会報作成に参加していますので、作成に関わる皆さんの会員への思いと熱意が伝わってきます。また「ホームページ」も行事の紹介や参加者の写真が満載されていて、楽しく拝見しております。こんなに充実した会報を持っている埼玉の会員は幸せです。ぜひ他県の退職者の会に、また「民医連共済」のたよりにホームページの存在を発信してください。

61年目の
新しい歴史づくりが
始まっています

事業所訪問

熊谷生協病院

訪問者：小野敏・栗原和子

熊谷生協病院は、「～県北地域に安心と協同の創造を～いかなる時も利用者の権利を尊重し、そのニーズにふさわしいサービスを保健・医療・福祉の事業を通して誠実に提供します」この病院理念のもと、今年度の診療報酬改定で新設された地域包

括ケア病に一般病床の24床を転換し、105床全体の有効活用を進めていました。

この地域包括ケア病床は、急性期治療後の患者さんを対象に2カ月をメドに、リハビリ等を実施し自立した生活が行えるように、また退院後に安心して療養生活を送れるよう

「在宅・生活復帰の支援をす

ること」が目的です。訪問診療、訪問看護、訪問介護、通所リハビリなど必要なサービスをケアマネジャーと連携して提供していくもので、すでに熊谷生協ケアセンター、訪問看護ステーションも院内に移り、連携を強めながら「在宅療養」の支援が取り組まれていました。地域包括ケア病床には、県立循環器病センターをはじめ他の病院からの患者さんの紹介も増え、病床稼働も高まり、日当点も高く経営的に好転しています。



また、熊谷生協病院主催で地域ケアマネ懇談会を開催し、23事業所・48名が参加、院長をはじめ職員の問題提起や意見交換など連携を強める活動も始まり、その後も継続して開催しています。この結果在宅患者さんの紹介が増え、病院としては今までにない最高の在宅患者数となりました。組合員からは「街中で訪問看護ステーションの車をよく見かけ安心です」の声が聞かれたり、院内では「病児保育」も始まり、女性が働き続けるうえでの支えとなっていることが埼玉新聞で報道されるなど、元気なお話をいろいろ聞くことができました。

院長を中心に180名の職員集団、組合員さんとの協力協同の力で着実に61年目の新しい歴史づくりが始まっていました。将来に向かっては、小規模老人保健施設、グループホーム、認可病児保育などへと夢も広がり、これらを支援する医療生協らしい地域づくり・地域支援等、今後の発展が楽しみです。



いま地域で P1

原水禁大会に 行ってきました

早田 繁

3月をもって定年退職になりました。

すべて自由で、無人島にでもいるかのような暮らしが望みでありました。でもそうはいかないのが現実だとすぐに思い知らされました。

4月の早い時期に、休眠状態となっている上尾原水協の再建に協力してほしいとの話がありました。仕事以外したくないことですので、文字通りゼロからのスタートです。平和行進に続いて、原水禁大会に参加しました。大会3日間を通じて、何よりも取り上げたいのは国連軍縮担当のアンゲラケインさんです。

アンゲラケインさんは、核保有国とその同盟国が「核抑止力」や「核の傘」に固執してなかなか軍縮が進まない現状に苦しい胸の内を明かしながら、それでも「皆さんの多様な活動が私の力になっています」といってくれました。「頑張れ！アンゲラケインさん」とエールを送りたい思いです。事務総長もメッセージで「不屈で高潔な皆さん」と称えてくれました。私たちのような名もない一介の市民の集まりが、国連にまで通じているなんてすごいことだと思いながら帰ってきました。

退職後の生活はまだ始まったばかり。バランスよく充実したものにしていきたいと思っています。



いま地域で P2

おがわ町市民協同蟹座沢発電所完成 生まれ育った地域で、 再生可能エネルギー創出運動に参加

千野 章夫

東日本大震災から3年が経過する中で、今年4月1日小川町市民協同太陽光発電所が完成しました。農業に関わる私は「水源を守ろう、農業を守ろう、大地は国民共有の財産」との考えから「おがわ町自然エネルギーファーム」設立に参加、100名を超える会員と一緒に歩み始めました。提供された土地は100人近い参加者で草刈りや整地作業に取り組み、総工費の555万円は52人が参加し、2か月で集めました。発電した電気はどこに売するのか、送電線は、パネルの耐用年数は、設置費用は、などなど一つ一つを学び解決しながらの完成です

①自然エネルギーの普及 ②省エネルギーの推進 ③持続可能な環境と社会に関する研究 ④再生可能エネルギーに関する人材育成と雇用の創出を活動基本にNPO法人を取得した力で、第2号太陽光発電所の計画をはじめ地域のバイオマスエネルギーの活用など、子供たちが安心して暮らすことのできる未来への種まきが始まっています。私の人生も、1に医療、2に福祉、3に自然エネルギー、何かこれからの過ごし方が少し見えてきたような気がします。





気楽に
私の一枚



「可愛い花なのに
へくそかすら」小嶋美智子



「和子の果樹園・アーモンドの実」
栗原 和子



「散歩道の
白い花」
小田政満



「初めての新聞ちぎり絵」浦川恵子



「絵手紙三題」 田中久子

あとがき

どこともなく甘い香りにあたりをキョロキョロ、そう、金木犀の香りです。すっかり秋。
今号も「私の近況」をはじめたくさんの投稿をいただきました。OB 会だよりに同封の「会
員通信」をいつも送って下さる方も。うれしいです。12 ページ予定を急遽 16 ページに
変更してのお届けです。(よ)